

府中市との地域見守り活動状況について

平成 30 年 7 月

高齢者、障がい者、子供等、市民の誰もが住みなれた府中市でいつまでも安心して暮らし続けることができる地域社会を目指し、平成 27 年 12 月に府中市と両備信用組合などは「地域見守り活動に関する協定」を締結いたしました。

当組合は、協定締結以前より、日常の営業訪問活動のなかで見守り活動を実施しており、これまでに地域住民の安全確保（人命救助等）を行った実績がございます。

この度は、当組合の日頃の地域見守り活動が、役立った事例を報告申し上げ、今後も、地域住民の安全に役立つため地域見守り活動を継続して参ります。

【事例】

当組合上下支店の渉外係の Y 君が、平成 30 年 6 月 28 日（木）午前 9：30 頃、府中市上下町で営業訪問活動中に、2～3 歳ぐらいの子供さんが一人で歩道と車道をジグザグに歩いていたため、自動車は子供さんを避けながら走っている状況を見て、非常に危険であると判断し、自動二輪車を止めて子供さんのところへ駆け寄り保護いたしました。

取引先企業の子供さんであったため、いっしょに歩いて自宅へ向かっている途中で父親が探しに来られたので引き渡しをいたしました。

午後、取引先企業の祖母（経営者）より Y 君へ電話がありましたが、本人不在であったため窓口係りが経緯を聞きました。

祖母より、Y 君へ「ありがとうございましたとお伝えください。」と感謝されました。